

北海道大学大学院医学院社会医学講座 2026年度博士課程・修士課程 入学説明会

10月7日（火）

18:00～

オンライン開催



申込フォームにて申込みをされていない方がいらっしゃいましたら、
お手数ですが、左記QRコードからご登録いただけますようお願いします

本日の予定

1. 医学院紹介
2. 博士課程紹介
3. 公衆衛生学コース(MPHコース)紹介
4. 認定遺伝カウンセラー養成プログラム紹介
5. 社会医学講座紹介
6. 修了生の声
7. 個別説明

• 理念

世界をリードする先進的医学研究を推進し、高い倫理観と豊かな人間性を有する医学研究者・医療人を育てることにより、人類の健康と福祉に貢献する。

• 教育目標と行動目標

■ 教育目標

医学・生命科学に関する高度な知識と研究能力を備え、社会の要請に応える高い見識を備えた人材を育成する。

■ 行動目標

1. 高度に専門的な医学・生命科学の知識と研究能力を備えることで、疑問や仮説を科学的に深く追究する探究心を育む。
2. 世界をリードする先端医学研究を国際的に推進する能力を習得する。
3. 健康・安全に関する地域社会、国際社会の多様かつ広範な要請に応える能力と見識を培う。
4. 倫理性豊かな人材として活躍するために、命の尊厳を敬う心を涵養する。

研究目標と行動目標

■ 研究目標

基幹総合大学として国際レベルの研究を推進し、知のフロンティアを切り拓き人類の福祉に貢献する。

■ 行動目標

1. 独創的、先駆的基礎研究の発展に寄与する。
2. 社会に役立つ実学として臨床医学、社会医学を推進する。
3. 基礎から臨床までの橋渡し研究を遂行する。
4. 総合大学の特色を生かし、学内関連部局、国内外の大学・研究機関、産業界と連携しつつ、世界レベルの医学研究を推進する。

入学者受け入れ方針 (アドミッション・ポリシー)



- 生命現象の解明、疾病の克服、人類の健康の増進に向けて真摯に研究に取り組むことのできる人
- 知的好奇心に富み、論理的な分析力、粘り強い行動力や協調性を有し、医学領域各分野において国際的なリーダーとして活躍できる人

情報掲載冊子

- 大学院医学院修士課程案内
- 大学院医学院博士課程案内
- 大学院医学研究院・大学院医学院・医学部医学科概要

- 募集要項
 - － 医科学専攻修士課程
 - － 医学専攻博士課程

<https://www.med.hokudai.ac.jp/general/ko-ho/info-resources.html>

<https://www.med.hokudai.ac.jp/graduate/admissions/index.html>

医学院概要



募集要項



入学試験

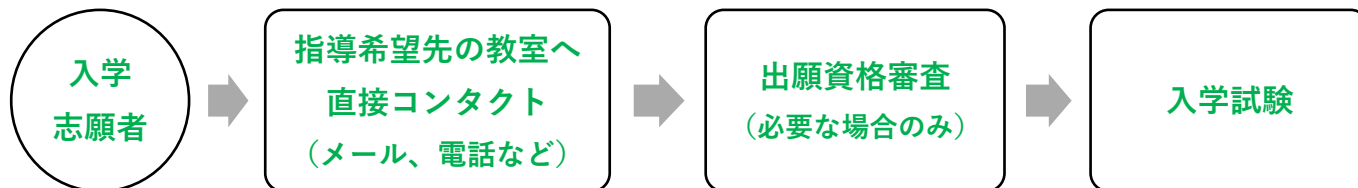
募集要項をご確認ください

<https://www.med.hokudai.ac.jp/graduate/admissions/index.html>

2026 (令和8) 年度 募集要項



	修士課程	博士課程
募集人員	20名	90名（社会人若干名を含む）
出願資格	学士の学位を有する方等 （公衆衛生学コース〈1年コース〉のみ医師・歯科医師等の実務経験が2年以上の方） 資格審査申請： 前期 令和7年 6月11日（水）～12日（木） 後期 令和7年10月27日（月）～28日（火）	大学における医学、歯学又は修業年限6年の獣医学もしくは薬学を履修する課程を卒業した方、または修士課程を修了した方等 資格審査申請： 前期 令和7年 6月11日（水）～12日（木） 後期 令和7年10月27日（月）～28日（火）
出願期間	前期 令和7年 7月 2日（水）～ 7日（月） 後期 令和7年11月21日（金）～27日（木） 受付時間：午前9時から午後5時まで 郵送(書留速達)により出願期間内必着のこと	前期 令和7年 7月 8日（火）～11日（金） 後期 令和7年11月17日（月）～20日（木）
試験日	前期 令和7年8月19日（火） 後期 令和8年1月14日（水）	



【一般選抜】

- 課題論文（修士のみ）
- 外国語（英語）
- 専門科目（志望する教室）

募集要項をご確認ください

<https://www.med.hokudai.ac.jp/graduate/admissions/index.html>

長期履修制度

学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限（修士2年、博士4年）を超える期間にわたり計画的に教育課程を履修したい旨を出願時に申し出て申請し許可された場合、

- 修士：約2年間の授業料で最大4年間まで、
- 博士：約4年間の授業料で最大6年間まで 在学可能

- ①官公庁、企業等に在職している者（給与の支給を受け、職務を免除されている者を除く。）又は自ら事業を行っている者等フルタイムの職業に就いている者
- ②アルバイト、パートタイム等の職業に就いている者で、その負担により修学に重大な影響がある者
- ③育児・親族の介護等前2号に準ずる負担により、修学に重大な影響がある者
- ④視覚障害、聴覚障害、肢体不自由その他の障害を有している者で、その障害により長期にわたり修学に重大な影響があると認めた者

＊ 修士課程公衆衛生学コース（1年コース）には適応されない

社会医学講座の構成

- 衛生学教室
- 公衆衛生学教室
- 法医学教室
- 医療政策評価学教室
- 医学統計学教室
- 医学教育・総合診療医学教室
- レギュラトリー・サイエンス教室*
- 医療安全管理学教室**
- ヘルスデータサイエンス教室
- 臨床遺伝学・医療倫理学教室

* 学生募集なし

** 修士課程のみ募集



博士課程 社会医学コースについて

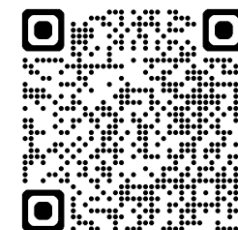
地域社会や国際的なレベルの健康・安全の維持・
向上に幅広い知識と高い技能をもって取り組む
ことのできる人材の育成を目的とする

育成する人材像

1. 国内外の大学・研究機関における国際的な研究者
2. 医療機関において、優れた臨床技術と研究能力を兼ね備えた臨床医・研究医
3. 行政機関・企業等において保健医療行政・公衆衛生に携わる高度専門職業人

社会医学コースでは、社会医学的、予防医学的視点から研究倫理、統計学の基礎と応用、医療情報学、EBMなどの社会医学研究法を修得した上で、公衆衛生学や予防医学分野における研究手法や研究遂行能力を培う

令和元年度現在



各教室での研究テーマ例

衛生学教室

- ◆ 環境疫学に関する研究
- ◆ 高齢者の保健福祉課題に関する疫学研究

公衆衛生学教室

- ◆ 若い世代の健康とwell-being
- ◆ 地域住民の健康とwell-being

法医学教室

- ◆ 薬毒物分析に関する研究
- ◆ 死後CT画像に関する研究

医学教育学・総合診療医学教室

- ◆ 指導方法や教材の開発に関する研究
- ◆ 評価方法の開発に関する研究
- ◆ 学習行動に影響する要因に関する研究
- ◆ 医師のキャリア選択の要因に関する研究

医学統計学教室

- ◆ 生存時間解析
- ◆ 予測モデル構築のための方法論
- ◆ 臨床試験デザインの開発
- ◆ 生物統計学の実践

医療政策評価学教室

- ◆ 医療・介護の提供体制に関する研究
- ◆ がんなどの疾病対策に関する研究
- ◆ 医療技術評価 (Health Technology Assessment)

医療安全管理学教室

- ◆ 安全な医療を提供するための組織的対応の研究
- ◆ 医療安全管理者育成方法の研究
- ◆ 医療事故調査方法の標準化に関する研究

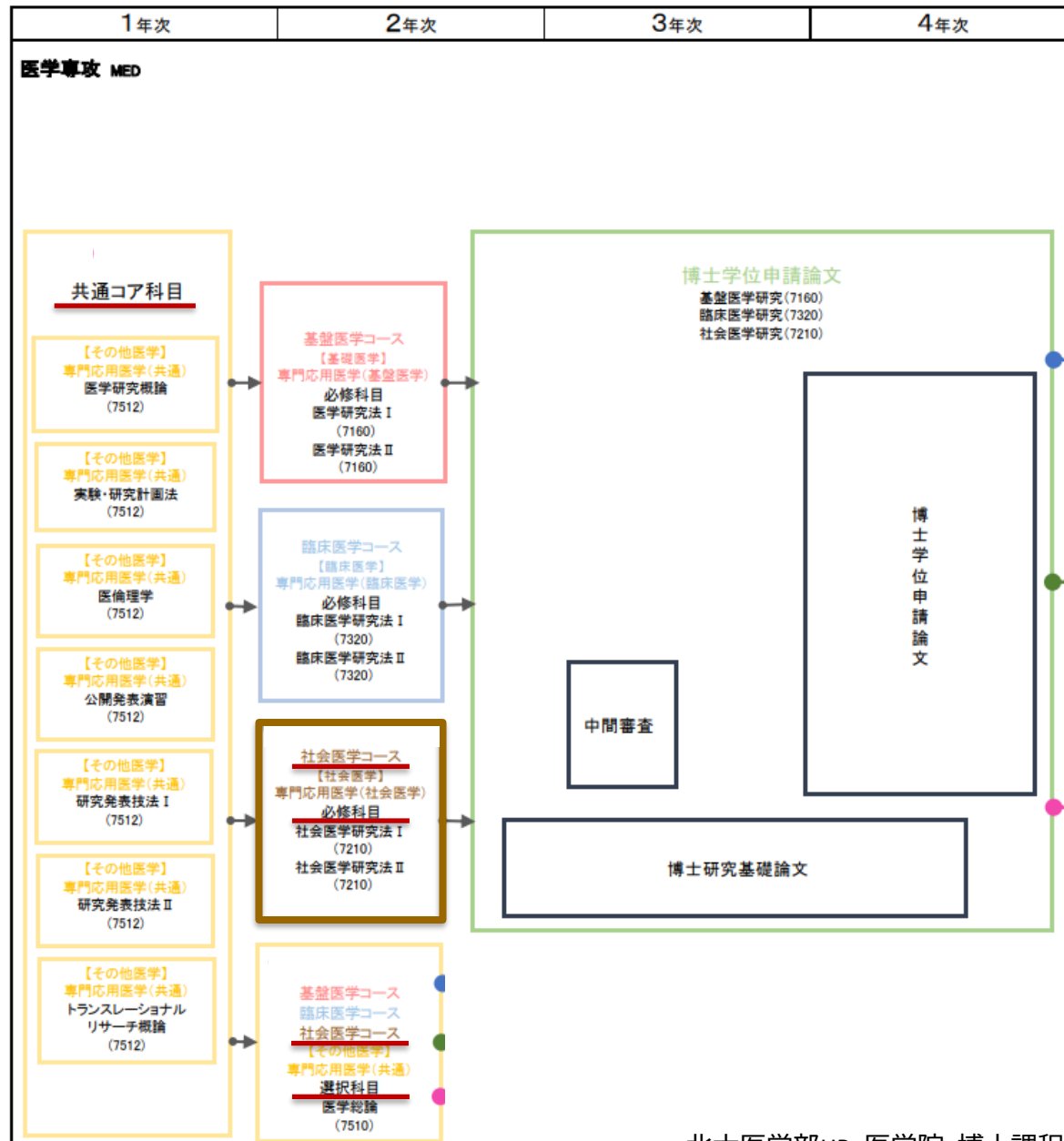
ヘルスデータサイエンス教室

- ◆ リアルワールドデータに関する研究
- ◆ ウェアラブルデバイスデータに関する研究

臨床遺伝学・医療倫理学教室

- ◆ 出生前検査・着床前検査・発症前検査における遺伝カウンセリング提供体制の研究
- ◆ ゲノム医療の二次的所見の取扱いに関する研究
- ◆ 遠隔遺伝カウンセリングに関する研究
- ◆ 遺伝情報に関する心理社会的リスク指標の研究
- ◆ 骨系統疾患の臨床遺伝学的研究
- ◆ 難病・未診断疾患の遺伝学的検査に関する研究

カリキュラムマップ



教育課程

- 「共通コア科目」
 - 7科目8単位
 - 大学院教育において基本となる素養を涵養する
- 「必修科目」
 - 3科目12単位
 - 当該専門研究分野の深い知識のみならず、幅広い分野の知識を修得する
- 「選択科目」
 - 10単位以上
 - コースを超えた幅広い視野や専門分野の枠を超えた専門的知識を修得する

中間審査

3年次の最初に中間審査を行い、審査員による進行状況のチェックを受ける

修了要件

1. 学位論文の提出
2. インパクトファクターのある英文学術雑誌等に掲載
または掲載予定の英語基礎論文1編（申請者が第一著者となっているもの）
3. 所定の単位30単位以上の修得

英文学術雑誌に掲載の英語基礎論文2編以上で、履修年限を最大1年間短縮可能（他に要件あり）



修士課程

公衆衛生学コース
(MPHコース)

について

MPH（Master of Public Health）コースの目的

地球規模の視野と、

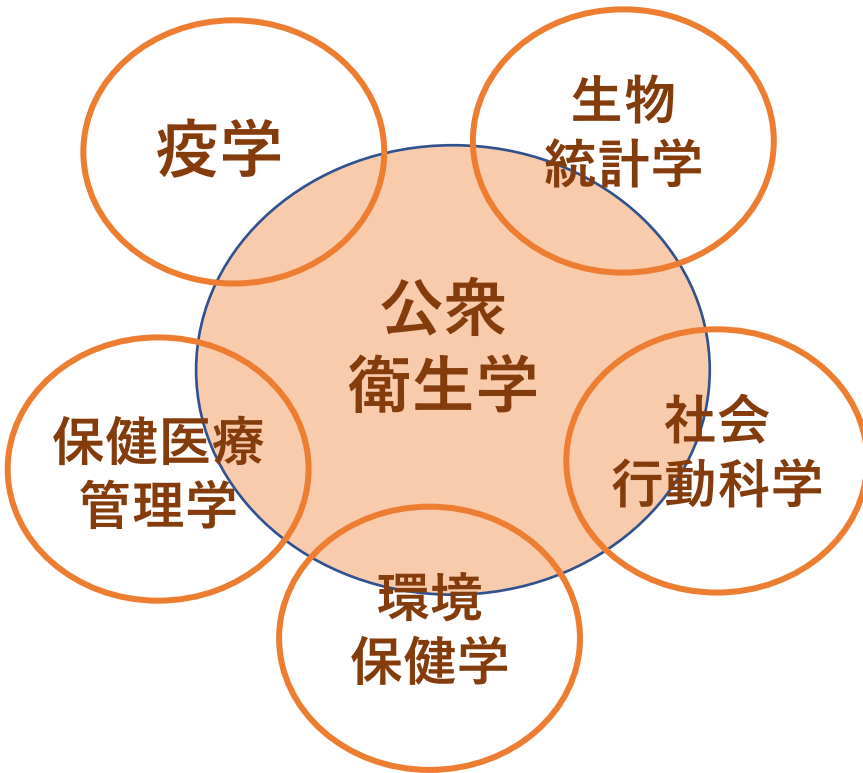
地域社会に役立つ知識、

技能を身につけた公衆衛生人材を育成する

MPH取得者が持つべき Fundamental competencies (基本的能力)

1. 公衆衛生へのEvidence basedアプローチ力
2. 公衆衛生と保健医療システムの構造分析能力
3. 健康増進のための計画・管理能力
4. 保健医療政策能力（政策計画・提言、アドボカシー、評価）
5. リーダーシップ
6. コミュニケーション（セクター別対応）
7. 専門家間の活動
8. システム思考能力

基本5領域



1. Core knowledge areas (基本 5 領域)

- Biostatistics (生物統計学)
- Epidemiology (疫学)
- Social and behavioral sciences (社会行動科学)
- Health services administration (保健医療管理学)
- Environmental health sciences (環境保健学)

2. “Cross-cutting and emerging public health areas”

(分野横断的かつ新たな公衆衛生分野)

1年コースと2年コースの修了要件

2年コース

30単位 + 修士研究論文

1年コース

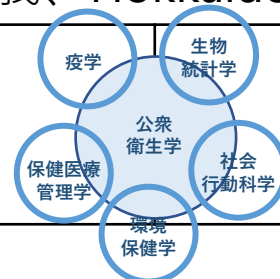
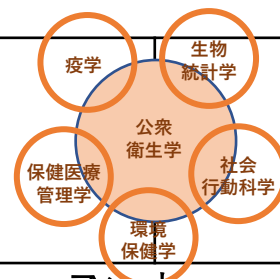
30単位 + 特定課題研究／修士研究論文

特定の課題においては上記の能力が身についたことを確認できるようまとめた上で評価。

例：医療政策提言書、選択テーマの系統的レビュー、臨床研究プロトコル

単位構成（30単位）

	MPHコース(2年コース)	MPHコース(1年コース)
共通コア 科目	・研究計画 ・倫理 ・橋渡し研究 など 4単位	
必修科目I	基本5科目の必修 +基礎医学概論 +臨床医学概論 7単位	基本5科目の必修 5単位
必修科目II	 研究・発表の必修 14単位	13単位
選択科目	5科目の応用+大学院共通授業科目 より専門的な講義、全学講義、Hokkaido Summer Institute	
	5単位 	 8単位



授業時間（予定）

原則：共通コア・必修科目は社会人にも対応

- 平日の 6、7 講時および土曜日に授業予定
- 一部講義はオンデマンド・ハイブリッドで受講可能
- 選択科目は平日の日中もあり

1講時	8:45-10:15
2講時	10:30-12:00
3講時	13:00-14:30
4講時	14:45-16:15
5講時	16:30-18:00
6講時	18:15-19:45
7講時	20:00-21:30



土曜の1-4限

時間割例

4月	月	火	水	木	金	土
1～5講時	選択科目（全学講義など）					基礎疫学（AM）
6講時	基礎生物統計学（オンデマンド）	基礎社会行動科学（2, 4週）	基礎環境保健学	基礎保健管理学	基礎社会行動科学（1, 3, 4週）	
7講時						

5月	月	火	水	木	金	土
1～5講時	選択科目（全学講義など）					基礎疫学（2週） 基礎保健管理学（3週）
6講時	基礎生物統計学（オンデマンド）	EBM演習		EBM演習	公衆衛生総論（隔週）	
7講時						

6月	月	火	水	木	金	土
1～5講時	選択科目（全学講義など）					医療マネジメント
6講時	統計的因果推論・臨床疫学	疫学研究デザイン立案	健康増進学	環境疫学演習	健康増進学 遺伝医療と医療倫理	
7講時						

全学の選択科目例

全学英語プログラム「HSI」

145科目（大学院レベル科目：108科目、学部レベル科目37科目）



全学共通科目

【科目名】大学院共通授業科目（教育プログラム）：医療AI開発者養成プログラム【インテンシブ】

【Course Title】Inter-Graduate School Classes(Educational Program):Medical AI developer training program (intensive course)

【講義題目名】医学AIコア科目～医学AI特論I

【Subtitle】Medical AI: Medical AI (I)

時間割コード	代表教員	単位数	開講学期	開講日程	曜日・課時
101117	工藤 興亮	2	通年 Full Year	原則オンデマンドの動画を公開するが、一部はライブ授業として実施し、その場合、日程を2週間前までにHPで通知する。	
言語	開講場所・教室	授業形態	学院等における専門科目名	科目等履修生の履修	学部学生の履修
日本語で行う授業 Classes are in Japanese.	オンライン	原則オンデマンド方式のオンライン授業するが一部例外あり	基本医学総論	不可	可

備考

SDGs



2025年度 大学院共通授業「社会と健康」

	学期	科目名	単位	言語	責任教員	（所属）
I 概論・倫理科目群	I	公衆衛生総論	1	日本語	玉置 暎子	医学研究院
	Ⅱ-Ⅳ	パブリックヘルス総論－研究と活動の最前線	2	日英	岩田 啓芳	環境健康科学研究教育センター
	Ⅲ	Basic Clinical Medicine I (基礎臨床医学 I)	1	英語	高橋 誠	医学研究院
	Ⅳ	Basic Medical Biology I (基礎医学 I)	1	英語	高橋 誠	医学研究院
Ⅱ A 疫学研究方法科目群	I	基礎疫学	1	日英	玉置 暎子	医学研究院
	I	EBM演習	1	日本語	玉置 暎子	医学研究院
	Ⅱ	疫学研究デザイン立案演習	1	日本語	玉置 暎子	医学研究院
	Ⅱ	疫学研究の実践	1	日本語	玉置 暎子	医学研究院
	Ⅱ	Practice in Epidemiology I (疫学演習 I)	2	英語	大林 由英	医学研究院
	I	科学論文のための文献レビューの基本	1	英語	上田 佳代	医学研究院
	Ⅱ	質問紙調査研究法	2	日英	大林 由英	医学研究院
	Ⅲ	疫学研究論文の書き方	1	日本語	玉置 暎子	医学研究院
	Ⅳ	Practice in Epidemiology II (疫学演習 II)	2	英語	大林 由英	医学研究院
	I	統計解析の基礎	1	日英	横田 勲	医学研究院
Ⅱ B 統計研究科目群	Ⅱ	統計的因果推論・臨床疫学	2	日英	横田 勲	医学研究院
	I	SASによる疫学データ分析	1	日本語	木村 尚史	医学研究院
	I	医学におけるRプログラミング入門	1	英語	セボン サークセス	医学研究院
	Ⅲ	ヘルスデータサイエンス特論	1	日本語	伊藤 陽一	北海道大学病院
Ⅲ 環境保健科目群	I	基礎環境保健学	1	日英	上田 佳代	医学研究院
	Ⅱ	環境疫学演習	1	英語	セボン サークセス	医学研究院
	Ⅱ	Global Health and Human Ecology I (国際保健医学と人類生態学 I)	1	日英	山内 太郎	保健科学研究所
	Ⅱ	Environmental Health Science for a Healthier Tomorrow (明日の健康のための環境衛生学)	1	英語	池田 敦子	保健科学研究所
	Ⅱ	VUCA下における社会的弱者の室内環境改善	2	英語	森 太郎	工学研究院
	Ⅲ	環境と子どもの健康・発達	1	日英	アイツバマイゆふ	環境健康科学研究教育センター
	Ⅲ-Ⅳ	プラネタリーヘルス概論～人と地球の健康のためにできること	2	日英	アイツバマイゆふ	環境健康科学研究教育センター
Ⅳ 健康科学科目群	Ⅲ	Environmental Chemicals and Human Health (環境化学物質と人びとの健康)	1	英語	池田 敦子	保健科学研究所
	I	基礎社会行動科学	1	日本語	上田 佳代	医学研究院
	I-Ⅱ	健康科学特論	2	日英	山内 太郎	保健科学研究所
	Ⅱ-Ⅳ	Field Research on Global Health (国際保健フィールド研究演習)	2	英語	大林 由英	医学研究院
	Ⅲ	ジェロントロジー	1	日本語	新井 明日香	医学研究院
Ⅴ ヘルスリサーチ科目群	Ⅳ	母子保健の動向	1	日本語	前田 恵理	医学研究院
	I	基礎保健医療管理学	1	日本語	吉元 重和	医学研究院
	I-Ⅱ	医療情報・安全管理学	1	日本語	南須原 康行	北海道大学病院
	Ⅱ	医療マネージメント特論	2	日本語	小笠原 克彦	保健科学研究所
	Ⅱ	医療保険・介護保険制度特論	1	日本語	吉元 重和	医学研究院
	Ⅱ					医学研究院
	Ⅲ					医学研究院
	Ⅳ					医学研究院
						医学研究院
						医学研究院

ディプロマプログラム「社会と健康」

- 履修方法
- 現在北海道大学に在籍する全ての大学院生が対象です。幅広い分野の学生の受講をお待ちしています。
- 「社会と健康」ディプロマプログラム登録受付中 URL: <https://www.cehs.hokudai.ac.jp/ceducation#1-2>
- お問い合わせ：環境健康科学研究教育センター：事務担当 E-mail: jimu3@cehs.hokudai.ac.jp（内線）4746

推奨される科目（例）



（例）保健医療行政の専門家を目指す方に

共通コア	応用5科目		その他大学院共通授業科目
	必修科目Ⅰ	必修科目Ⅱ	
	EBM演習	疫学研究デザイン立案演習	パブリックヘルス総論ー研究と活動の最前線
	疫学研究の実際	健康増進学	環境と子どもの健康・発達
	法医学	精神保健学	Environmental Chemicals and Human Health (環境化学物質と人びとの健康)
	公衆衛生総論	母子保健の動向	健康科学特論
	医療情報・安全管理学		ジェロントロジー
			ヘルスデータサイエンス特論
			医療政策評価学（Health Care Policy）
			医療マネジメント特講
			地域保健活動



（例）生物統計家を目指す方に

共通コア	応用5科目		その他大学院共通授業科目
	必修科目Ⅰ	必修科目Ⅱ	
	EBM演習	疫学研究デザイン立案演習	ヘルスデータサイエンス特論
	SASによる疫学データ分析	臨床疫学入門	医学におけるRプログラム入門
	環境疫学演習	統計学的因果推論入門	
	生物統計学のための数理統計	生物統計学特論Ⅰ	
	生物統計学特論Ⅱ	臨床データ解析演習	
	臨床試験の統計的方法		

これまでの入学生のバックグラウンド

- 医師
 - 臨床医
 - 産業医
 - 行政医
 - 保健師
 - 看護師
 - 管理栄養士
 - 臨床検査技師
 - 作業療法士
 - 理学療法士
- 学部から直接
 - 看護
 - 薬学
 - 理学
 - 数学
 - 経済 など
 - 留学生

MPH研究：Impact factor付国際誌

高田 拓哉

JAMA Network Open, 2025



Original Investigation | Environmental Health

Air Temperature and Gastroenteritis Among Rohingya Populations in Bangladesh Refugee Camps

Takuya Takata, MPH; Xerxes Seposo, PhD; Nasif Hossain, PhD; Kayo Ueda, PhD

Abstract

IMPORTANCE The Rohingya displaced population in Bangladesh is the largest stateless population in the world. Infectious diseases, such as gastroenteritis, respiratory infections, and fever, are among the major health problems the Rohingya population has faced. Although associations between gastroenteritis and air temperature have been reported in various regions, no study has yet been carried out among the displaced populations.

Key Points

Question How is air temperature associated with the risk of gastroenteritis among refugee populations?

Findings In this cross-sectional study that included 64 445 gastrointestinal

稲尾 翼

Commun Stat Simul Comput, 2024

COMMUNICATIONS IN STATISTICS - SIMULATION AND COMPUTATION®
<https://doi.org/10.1080/03610918.2023.2196750>



Simulation studies on the estimation of sensitivity and specificity in the absence of a gold standard and with rare positive frequencies

Tasuku Inao, Kazufumi Okada, Yichi Yang, and Isao Yokota

Department of Biostatistics, Graduate School of Medicine, Hokkaido University, Sapporo, Japan.

卯野木 陽子

BMC Health Serv Res, 2024

Unoki et al. BMC Health Services Research (2024) 24:242
<https://doi.org/10.1186/s12913-024-10763-0>

BMC Health Services Research

RESEARCH

Open Access



Exploring the influence of a financial incentive scheme on early mobilization and rehabilitation in ICU patients: an interrupted time-series analysis

Yoko Unoki¹, Sachiko Ono^{2†}, Yusuke Sasabuchi^{3†}, Yohel Hashimoto^{4,5}, Hideo Yasunaga⁵ and Isao Yokota^{1*}

森 博隆

Cureus J Med Sci, 2023

Cureus

Open Access Review
Article

DOI: 10.7759/cureus.47184

Prognostic Value of Hematogones in Patients With Hematopoietic Disorders After Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation: A Systematic Review and Meta-Analysis

Hirota Mori^{1,2,3}, Daisuke Koyama⁴, Yuki Sato⁴, Yuki Kataoka^{5,6,7,8}, Shunsuke Taito^{3,8}, Takashi Ishio², Takanori Teshima², Isao Yokota¹

Review began 10/04/2023
Review ended 10/11/2023
Published 10/17/2023

© Copyright 2023 Mori et al. This is an open access article distributed under the terms of the Creative Commons Attribution License CC-BY 4.0., which permits unrestricted use, distribution, and reproduction in any medium, provided the original author and source are credited.

1. Department of Biostatistics, Graduate School of Medicine, Hokkaido University, Sapporo, JPN 2. Department of Hematology, Hokkaido University Faculty of Medicine, Sapporo, JPN 3. Department of Systematic Reviewers, Scientific Research Works Peer Support Group, Osaka, JPN 4. Department of Hematology, Fukushima Medical University, Fukushima, JPN 5. Department of Healthcare Epidemiology, Kyoto University Graduate School of Medicine, School of Public Health, Kyoto, JPN 6. Department of Community Medicine, Kyoto University Graduate School of Medicine, Section of Clinical Epidemiology, Kyoto, JPN 7. Department of Internal Medicine, Kyoto Min-iren Asukai Hospital, Kyoto, JPN 8. Division of Rehabilitation, Hiroshima University Hospital, Hiroshima, JPN

これまでの修了生の進路

◆PhDへ進学、研究者へ

- 本学PhDコース進学
- 海外のPhDコース進学

◆就職・転職

- 国際保健関連
- JICA健康管理
- 医療系企業
- 在宅看護施設

◆元の職場で昇進

- 保健所長
- ○○長、客員研究員として講義

◆起業展開

年間タイムライン（2年コース）

共通コア： 1年目7月末までに修了

必修科目： 1年目6月末までに修了

研究着手：1年目から

分析：1年目から2年目9月まで

執筆：2年目10月から12月まで

論文完成：2年目12月

選択科目： 2年目12月末までに修了

修論提出： 2年目1月上旬

論文公開発表： 2年目2月上旬

教授会での修了承認： 2年目2月後半

年間タイムライン（1年コース）

共通コア： 7月末までに修了

必修科目： 6月末までに修了

研究着手：4月

分析本番：7－9月

執筆：10－12月

論文完成：12月

選択科目： 12月末までに修了

修論・特定課題提出： 1月上旬

論文公開発表： 2月上旬

教授会での修了承認： 2月後半

私たちが求める学生像

• 臨床実務経験者

- 基本的な臨床経験を積み、問題意識を持っている
 - 臨床研究を極めたい
- 体系的に社会医学の知識を修得してみませんか

• 公衆衛生実務経験者

- 社会と健康の関わりに関心がある
 - 体系的に公衆衛生を学びたい
 - 働きながら公衆衛生分野でキャリアアップしたい
 - 社会医学専門医を取得したい
- 夕刻・週末を使って社会医学の知識・技術を修得してみませんか

• 他領域の研究者

- 公衆衛生学を学んで研究分野の幅を広げたい など

北海道大学大学院医学院社会医学講座

2025年度博士課程・修士課程
入学説明会

北海道大学大学院医学院修士課程医科学専攻

臨床遺伝学・医療倫理学教室
遺伝カウンセラー養成プログラム

臨床遺伝学・医療倫理学教室

高度な臨床遺伝と医療倫理の理解を背景としたゲノム医療の
インターフェースとなる人材を養成しています

主な教室の活動内容

- 認定遺伝カウンセラーの人材育成
- 遺伝情報に関わる医療倫理学的事項への助言・検討
- 臨床遺伝学・医療倫理学が一体となった教育研究活動

研究テーマ

- ・ 出生前検査提供体制における医療と行政の連携に関する研究
- ・ ゲノム医療における二次的所見の取り扱いに関する研究
- ・ 遠隔遺伝カウンセリング・遠隔遺伝診療に関する研究
- ・ 遺伝情報に関する心理社会的リスク指標に関する研究
- ・ 骨系統疾患の臨床遺伝学的研究
- ・ もやもや病に関わる臨床遺伝学的研究
- ・ 難病・未診断疾患の遺伝学的検査に関する研究

遺伝カウンセリングとは



遺伝の病気と言われたけど、ピンとこない

親戚に遺伝病の人がいます。
私の子どもへの影響が心配です。



遺伝に関する悩みや不安

遺伝カウンセリングとは

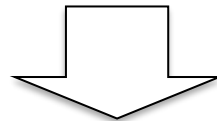


遺伝の病気と言われたけど、ピンとこない



親戚に遺伝病の人がいます。
私の子どもへの影響が心配です。

遺伝に関する悩みや不安



遺伝カウンセリング

ひとりひとりが抱える問題を解決していけるよう、
心理的、社会的サポートを通して支援

情報提供

心理社会的
支援

他の診療科
との連携



カリキュラム

公衆衛生学コース

遺伝カウンセラー養成プログラム

1年生前期

共通コア科目
必修科目Ⅰ

選択必修

後期

選択必修

2年生前期

必修科目Ⅱ
選択必修

遺伝カウンセリング
実習

課題研究

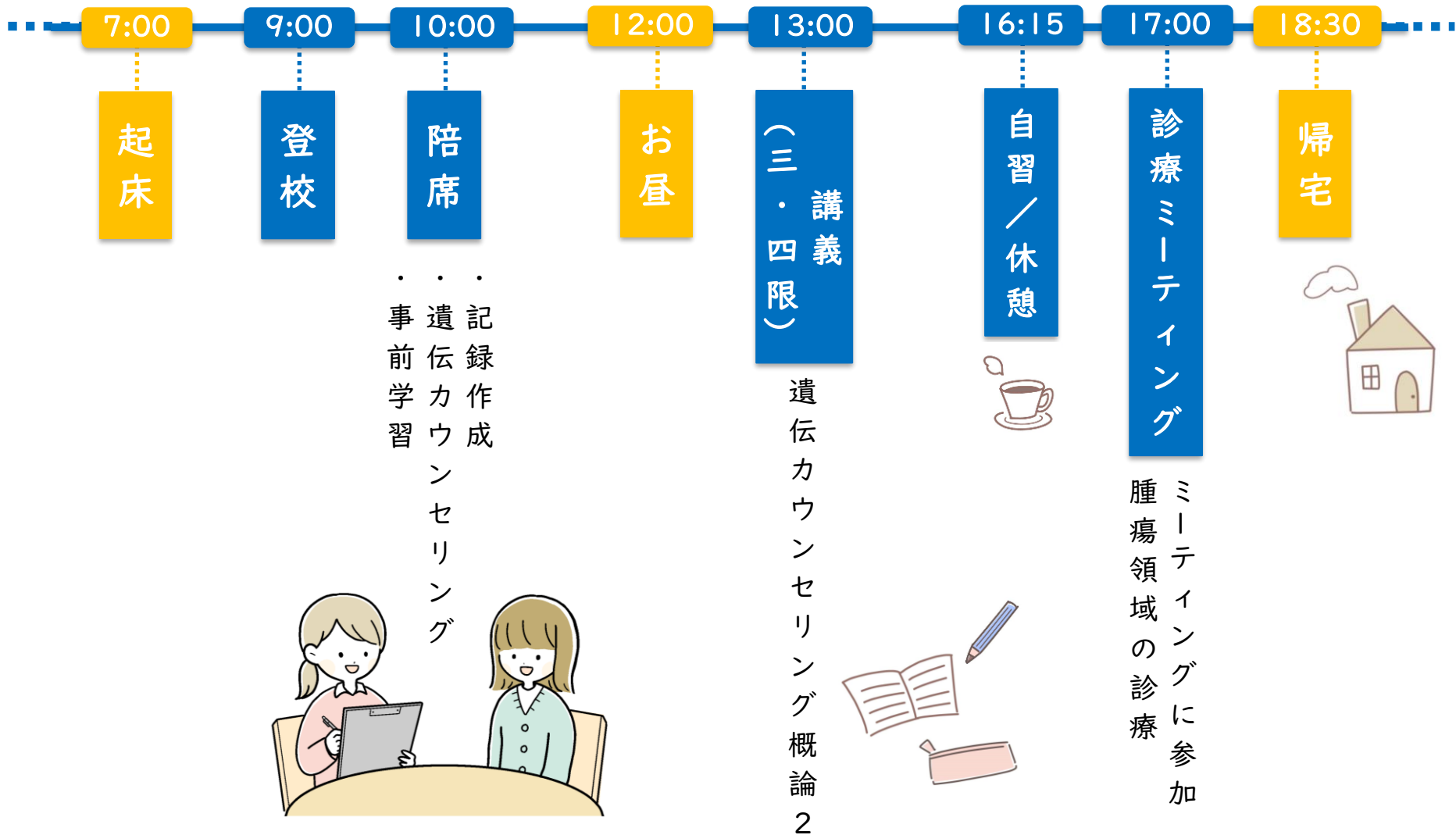
教育
カンファ
レンス
・
症例MTG

後期

学生の一日の様子



1 年次後期のある一日（イメージ）



遺伝カウンセラーのバックグラウンド

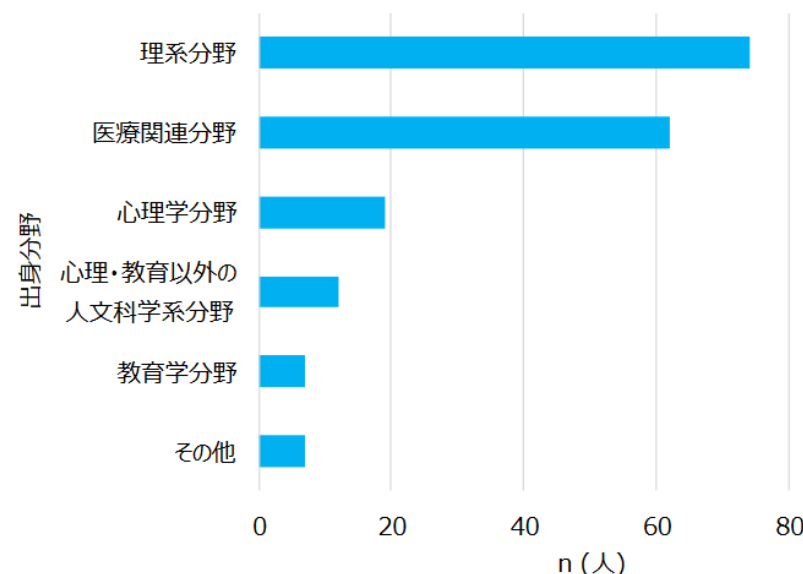
質問

6

CGC資格取得前に学んだ分野についてお示ください。(n=150, 複数回答可)

出身分野	n (人)	%
理系分野 (理学部・工学部・農学部・生命科学等)	74	49.3
医療関連分野 (看護、臨床検査等)	62	41.3
心理学分野	19	12.7
心理・教育以外の 人文科学系分野	12	8.0
教育学分野	7	4.7
その他※	7	4.7

※社会福祉、法学部、経営学、情報、経済経営環境国際論(総合政策)、
診療情報管理、バイオインフォマティクス



北大病院の場合

認定遺伝カウンセラー: 看護学2名、心理学分野1名

大学院生: 臨床検査学2名、生命科学分野1名

引用: 認定遺伝カウンセラー®の現状調査2020

遺伝カウンセラー養成課程の分布

全29大学院

(2025/3現在)

北海道

札幌医科大学

北海道大学

関西

京都大学

京都府立医科大学

大阪大学

近畿大学

東北

岩手医科大学

東北大学

中国

広島大学

鳥取大学

川崎医療福祉大学

関東

国際医療福祉大学

自治医科大学

千葉大学

お茶の水女子大学

順天堂大学

東京医科歯科大学

東京女子医科大学

北里大学

昭和大学

東京慈恵会医科大学

九州

長崎大学

熊本大学

九州大学

中部

新潟大学

信州大学

金沢大学

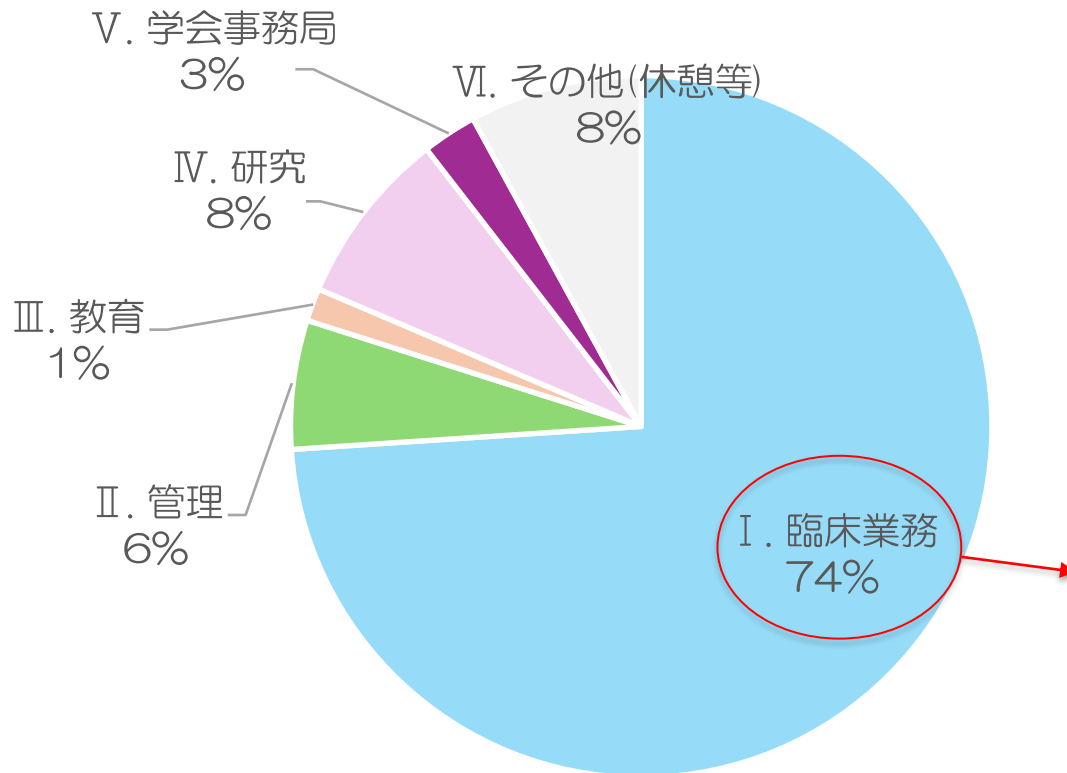
藤田医科大学

静岡社会健康医学大学

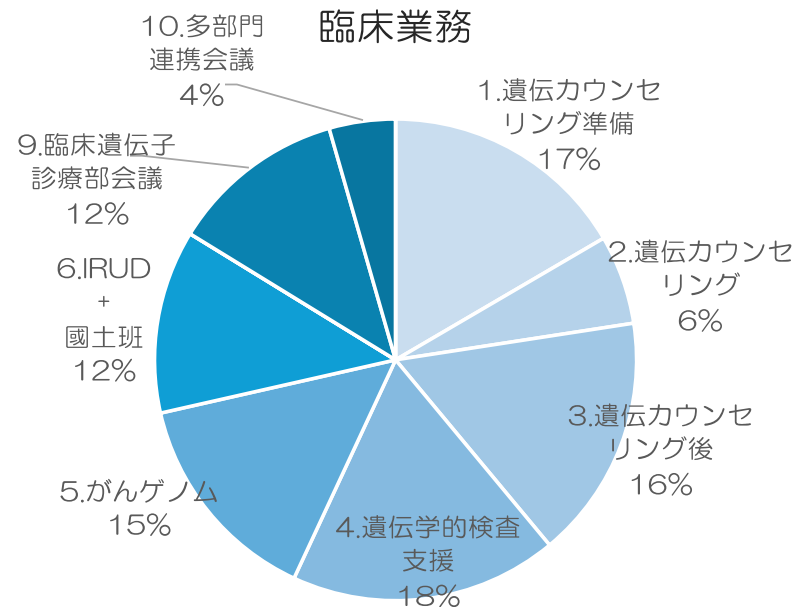


北大病院の遺伝カウンセラーの業務

全体



臨床業務



北海道大学病院臨床遺伝子診療部 北海道大学大学院臨床遺伝学・医療倫理学教室

お待ちしております!



山田崇弘 (部長・教授)
松島理明 (副部長・准教授・兼任)
矢部一郎 (顧問・教授・兼任)

宮崎幸子 (認定遺伝カウンセラー)
向中野実央 (認定遺伝カウンセラー)
藤田穂波 (認定遺伝カウンセラー)

臨床遺伝専門医・認定
遺伝カウンセラー (一部)

- 臨床遺伝子診療部の詳細につきましては、
北海道大学病院 臨床遺伝子診療部のホームページをご覧ください。

=====

遺伝カウンセラー養成プログラムのページ

<https://clinical-genetics-hokudai.jp/cgc/>

北海道大学病院 臨床遺伝子診療部のホームページ

<https://clinical-genetics-hokudai.jp/>

=====

- 受験には担当教員との事前面談が必須です。
受験希望の方は、願書提出前に必ずメールでご連絡をお願いします。

▼ 連絡先 ▼

北海道大学大学院 医学院

社会医学分野

臨床遺伝学・医療倫理学教室

clinical-genetics@pop.med.hokudai.ac.jp

社会医学講座 構成教室の紹介

衛生学教室

学際的なアプローチで、人口レベルでさまざまな環境要因の健康への影響を解明する

保健医療分野での大規模な臨床情報と、環境データ、衛星観測などリモートセンシング技術やシミュレーションモデルなど新たな方法から得る地域の環境・経済・インフラに関わる情報を組み合わせた環境疫学手法を用いています。統計分析ソフトRやSTATAを用いた時系列分析や時空間分析を行っています。

▶ メンバー

上田 佳代(教授)
Seposo Xerxes(准教授)
新井 明日奈(助教)
Mustakim(博士研究員)
大学院生(修士課程2名、博士課程1名)
研究生(2名)

▶ 連絡先

北海道大学大学院 医学研究院
社会医学分野 衛生学教室

eisei-contact@pop.med.hokudai.ac.jp

衛生学教室

教室の研究テーマ

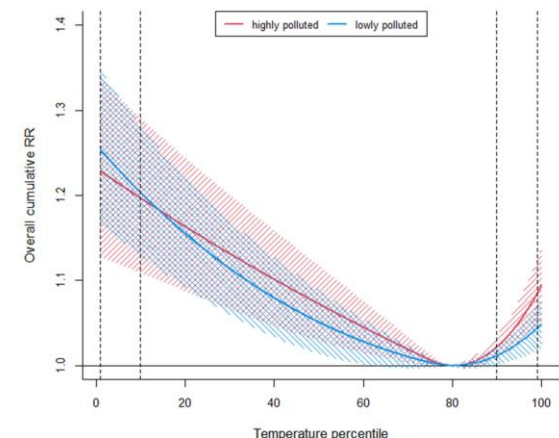
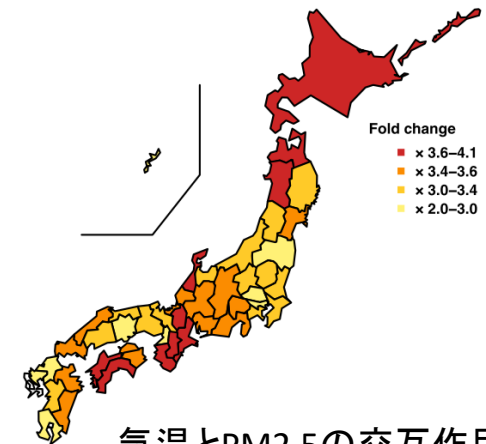
▶ 環境疫学に関する研究

- ・ 気候変動・大気環境の環境疫学研究
- ・ 集団レベルの健康介入に関する準実験デザイン(分割時系列解析,操作変数法)
- ・ 環境による健康リスク、疾病負荷評価および政策による健康インパクト評価

▶ 高齢者の保健福祉課題に関する疫学研究

- ・ 認知症の行動・心理症状に関する疫学研究

暑熱関連死亡の将来予測



- ▶ Keywords: 環境疫学、気候変動、疾病負荷、大気環境
認知症の行動・心理症状

公衆衛生学教室

研究方針

教室員は、一致協力して公衆衛生に資する研究・活動を推進するとともに、各専門領域におけるリーダーを目指す。そのために、日々、以下の点に心がける。

- 自らの健康に留意し、仕事のオンオフを切り替える
- 自分自身の興味と社会のニーズを勘案して研究テーマを設定する
- フィールドを開拓・育成し、現場の声に真摯に耳を傾ける
- 互いの専門性を尊重し、課題解決に向けて知恵を出し合い、オープンなディスカッションをする
- 計画的に、かつ粘り強く丁寧に研究を進める
- 得られた成果は論文にまとめ、社会に発信、公衆衛生活動に貢献する

- ▶ 教授：玉腰暁子
- ▶ 准教授：前田恵理
- ▶ 助教：木村尚史
- ▶ 助教：黒鳥偉作
- ▶ 博士課程：15名 （臨床教室 1名含む）
- ▶ 修士課程：4名

連絡先

北海道大学大学院 医学研究院
社会医学分野 公衆衛生学教室

publichealth-office@med.hokudai.ac.jp

公衆衛生学教室

教室の主な研究テーマ

▶ 若い世代の健康とwell-being

- 岩見沢市母子健康調査 (SMILE Iwamizawa)
- 若者コホート研究の計画・運営
- 「自分らしく生きる」ための質的研究 (対話コンポーネンツ)
- 職域・学校と共同で行う健康づくり (アクションリサーチ)
- 不妊予防と治療支援に関する研究
- 日本版Well-being構造の解明

▶ 地域住民の健康とwell-being

- 岩見沢市一万人調査 (HELLO Iwamizawa)
- 高齢者コホート調査 (NISSIN Project・JAGES)
- 中高齢者対象コホート研究 (JACC Study)
- 新型コロナウイルス感染症に関する研究 (札幌市データ・後遺症調査)

▶ Keywords: Cohort study, Epidemiology, Mixed method

医療政策評価学教室

よりよい医療政策を通して人の健康に貢献する

医療政策評価という研究フィールドにおいて、よりよい医療政策の立案に必要なエビデンスの創出を目指しています。

これからの日本は、高齢者が増加すると同時に、医療や介護の現場を支える生産年齢人口の大幅な減少が見込まれます。

北海道内のみならず、日本全体、さらには全世界の方々の健康の向上に向けて、現場が抱える課題を丁寧に把握しながら、よりよい医療政策を実現するべく、研究や教育を行います。

▶ メンバー

古元 重和（教授）

阿部 計大（講師）

大林 由英（助教）

連絡先

北海道大学大学院 医学研究院
社会医学分野 医療政策評価学教室

healthcarepolicy-inquiry@eis.hokudai.ac.jp

医療政策評価学教室

教室の研究テーマ

▶ 医療・介護の提供体制に関する研究

- 少子高齢社会における、医療・介護提供体制に関する研究
- 医療・介護の公的ビッグデータを用いた研究

▶ 疾病対策に関する研究

- がんをはじめとする疾患の予防、診療体制に関する研究

▶ 医療技術評価 (Health Technology Assessment) に関する研究

- 医薬品等の費用対効果評価



- ▶ Keywords: 医療政策、介護政策、社会保障、がん対策、疾病対策、費用対効果評価、新規医療技術

法医学教室

異状死の死因究明を通して社会貢献を目指す

異状死体について、その死因を明らかにすることによって事件・事故の見逃しを防ぐこと共に正確な死因特定によって公衆衛生の向上に貢献しています。CTおよび質量分析装置などの機器を用いて分析を行い、高度な死因究明に努めています。

▶ メンバー

的場 光太郎(教授)

神 繁樹(講師)

連絡先

北海道大学大学院 医学研究院
社会医学分野 法医学教室

houijimu@med.hokudai.ac.jp

法医学教室

教室の研究テーマ

▶ 薬毒物分析に関する研究

- 向精神薬・覚醒剤等の薬物の分析法の開発
- 中毒(硫化水素、塩素ガス等)の新しいマーカーの分析法の開発
- PESI-MSを用いた新たな迅速分析法の開発
- 法昆虫学における薬物分析法の開発

▶ 死後CT画像に関する研究

- 歯科所見における身元特定手法の開発
- 死後の肺野所見の解析手法の開発
- 死後CT画像における骨折などの外傷評価



- ▶ Keywords: 死因究明、薬毒物分析、死後CT、質量分析、法医学、法歯学、法中毒学

医学統計学教室

連絡先: yokotai@pop.med.hokudai.ac.jp (横田 勲)

教室の研究キーワード【現在研究中のメンバー数】

- ▶ **生存時間解析(打ち切りデータに対する方法論)【博2】**
 - ▶ 擬似値、Jackknife法、競合リスク、繰り返しイベントデータ、境界付平均生存時間、区間打ち切り、切断、同時モデル、セミパラメトリック推測、nested case-control
- ▶ **予測モデル構築のための方法論【博1】**
 - ▶ 動的予測、ネット利益、c統計量、ROC曲線、Decision Curve Analysis
- ▶ **臨床試験デザインの開発【博2、修1】**
 - ▶ ヒストリカルデータ利用、2段階デザイン、アダプティブ試験、ベイズ統計
- ▶ **生物統計学の実践【博3】**
 - ▶ データベース研究、臨床疫学、集中治療、臨床腫瘍、呼吸器内科、感染症

2025年度のメンバー

- ▶ 横田 勲(准教授)
- 博士課程8名、修士課程5名、学部生1名
+ 技術補佐員、客員研究員、非常勤講師

バックグラウンド(学部と職業)

- ▶ 経済学、総合数理、数学、健康科学、保健学、公衆衛生、予防医学、医学、看護学、薬学
- ▶ 医師(産科、血液内科、心臓血管外科、消化器外科、麻酔科)、看護師、薬剤師、理学療法士、臨床検査技師

統計検定の2級(医療系の背景がない方は、できれば準1級)以上の合格を求めます

医学教育・総合診療医学教室

教室の研究テーマ

- ▶ 指導方法や教材の開発に関する研究
- ▶ 評価方法の開発に関する研究
- ▶ 学習行動に影響する要因に関する研究
- ▶ 医師のキャリア選択に影響する要因に関する研究

▶ メンバー

高橋 誠(教授)

連絡先

北海道大学大学院 医学研究院
社会医学分野
医学教育・総合診療医学教室
hmedcenter@med.hokudai.ac.jp

医療安全管理学教室

教室の研究テーマ

- ▶ 安全な医療を提供するための組織的対応についての研究
- ▶ 医療安全管理者育成方法の研究
- ▶ 医療事故調査方法の標準化に関する研究

▶ メンバー

南須原 康行(教授)

連絡先

北海道大学大学院 医学研究院
社会医学分野
医療安全管理学教室

ヘルスデータサイエンス教室

ヘルスデータを対象として、医療情報学的研究
や臨床研究のデータ管理および解析方法に
関する研究を行う

電子カルテデータやウェアラブルデバイスデータなどのリアルワールドデータに関して、情報取得方法に関する医療情報学的研究、データマネジメントに関する研究、研究デザインおよび解析方法に関する研究を行っています。

▶ メンバー

伊藤 陽一（教授）

連絡先

北海道大学大学院 医学研究院
社会医学分野
ヘルスデータサイエンス教室

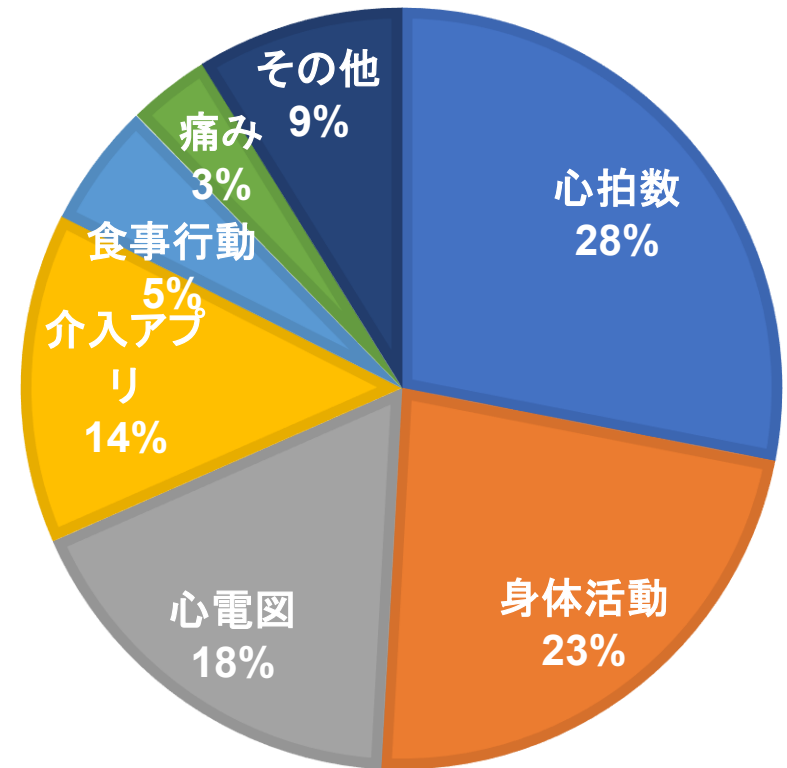
biostat-jimu@pop.med.hokudai.ac.jp

ヘルスデータサイエンス教室

教室の研究テーマ

- ▶ リアルワールドデータに関する研究
 - 電子カルデデータの抽出とデータクリーニングの自動化に関する研究
 - 解析用データウェアハウスの構造に関する研究
- ▶ ウェアラブルデバイスデータに関する研究
 - ウェアラブルデバイスを用いた臨床試験の傾向分析

APPLE WATCHで データ収集・介入した アウトカム



▶ Keywords: リアルワールドデータ、ウェアラブルデバイス

臨床遺伝学・医療倫理学教室

高度な臨床遺伝と医療倫理の理解を背景としたゲノム
医療のインターフェースとなる人材を養成する

教室の研究テーマ

- ▶ 出生前検査提供体制における医療と行政の連携に関する研究
- ▶ ゲノム医療における二次的所見の取り扱いに関する研究
- ▶ 遠隔遺伝カウンセリング・遠隔遺伝診療に関する研究
- ▶ 遺伝情報に関する心理社会的リスク指標に関する研究
- ▶ 骨系統疾患の臨床遺伝学的研究
- ▶ 難病・未診断疾患の遺伝学的検査に関する研究 ▶ もやもや病に関わる臨床遺伝学的研究

▶ メンバー

山田崇弘(教授)
松島理明(准教授・兼任)
宮崎幸子(認定遺伝カウンセラー)
向中野実央(認定遺伝カウンセラー)
藤田穂波(認定遺伝カウンセラー)

連絡先

北海道大学大学院 医学院
社会医学分野
臨床遺伝学・医療倫理学教室

clinical_genetics@pop.med.hokudai.ac.jp